

1 デリバリー・ネット販売



足羽ワークセンターでは、飲食事業において、販売会や各種イベント出店等を行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響でイベント等の中止や制限下での実施を余儀なくされました。しかし、コロナ禍を「チャンス」ととらえ、各関係機関とのつながりを武器に新たなスタイルで挑戦しました。

「コロナ禍での挑戦」

ピンチをチャンスに!

コロナ禍でデリバリーが主流となったため、官公庁などへの配達や一般へのネット販売に挑戦。
県内就労支援事業所と協力し、感染リスク軽減のため、事前に受注。配達当日は事業所ごとに配達するフロアを決め、他の事業所の商品もあわせて配達。また、ネット販売ではさまざまな注文経路に対応できる受注システムを独自に開発。注文を一元管理し、正確に対応できるようにしています。



2 販売会・イベント出店



逆境だからこそ挑戦を!

イベントやデリバリーは、お客様と直接やり取りを行う機会でもありますが、利用者の方も特にいきいきと活動されます。利用者の方のやりがいにつながるよう「できない」よりも「できること」や「できる方法」を考え、今後も活動していきたいと思っています。

マスクやクリアカーテンの使用、トレイを使った金銭の受け渡しなどコロナ対策を徹底。久しぶりのイベントで、利用者の方の楽しそうな姿が印象的でした。

